

令和 8 年 7 月 17 日
都 市 局
国際・デジタル政策課

「PLATEAU ビジョン 2026」を公表します！ ～ 都市デジタルツインの社会実装に向けた取組方針を策定 ～

国土交通省が推進する 3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の取組「Project PLATEAU」における、これまでの取組から認識される課題と今後目指すべき方向性などについて、「PLATEAU ビジョン 2026」として公表します。

- 国土交通省では、都市の課題解決や新たな価値の創造を目的として、3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の取組「Project PLATEAU」を推進しています。
- 2020 年の取組開始以来、2025 年度末時点で 329 都市において 3D 都市モデルが整備され、まちづくりや防災を中心とする分野での活用が進んでいますが、こうした取組の持続的かつ自律的な進展に向けては、モデル導入の裾野を広げるとともに、都市政策における活用定着を図る必要があります。
- このため、国土交通省では、「**PLATEAU ビジョン 2026**」を公表しました。同ビジョンでは、**①データ整備・更新の効率化**、**②サービス実装の更なる推進**、**③国外への都市デジタルツイン展開**の 3 つを今後の取組における重要項目として位置づけ、注力すべきサービス分野や産学官での推進体制、目標、アクションプランを取りまとめています。
- 特に、継続的なデータ整備や広範な分野における日常的活用の定着を目指すにあたっては、従来対象としてきた「3D 都市モデル」の範囲を拡張し、属性情報を部分的に保持するデータや AI を用いて作成したデータも取り扱うこととすることで、**多様なニーズに応じた最適なデータ選択・活用環境の構築を推進する方針**を示しています。
- また、ビジョンにおいて重要項目に掲げる「①データ整備・更新の効率化」に向けた技術開発の取組の第一弾としては、衛星画像やスマートフォン画像と AI を活用した 3D 都市モデルの自動生成及びテクスチャ自動付与技術の開発を行いました。これにより、**モデル整備の効率化と低コスト化を図り、都市デジタルツインの継続的な活用を促進**するとともに、**更なる技術開発**にも取り組んでまいります。
- 国土交通省としては、本ビジョンに基づき、自治体、事業者、研究機関等の多様な主体と連携し、**官民における都市デジタルツインを活用したサービス実装が自律的に進展し、価値創出が拡大していく状態を実現**するための各種取組を進めてまいります。

<添付資料>

- ・ 【別紙 1】 PLATEAU ビジョン 2026 概要
- ・ 【別紙 2】 PLATEAU ビジョン 2026 本文
- ・ 【別紙 3】 参考：データ整備・更新の効率化に向けた取組

<問い合わせ先>

都市局 国際・デジタル政策課 十川、清川
電話 代表：03-5253-8111(内線 32237、32202)
直通：03-5253-8422



<Project "PLATEAU">

ウェブサイト：www.mlit.go.jp/plateau/

www.mlit.go.jp/toshi/daisei/plateau_hojo.html

X：@ProjectPlateau